## PATENT COOPERATION TREATY

## **PCT**

## INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference F040008PCTMI	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below	
International application No. PCT/JP2004/010409	International filing date (day/month/year) 22 July 2004 (22.07.2004)	Priority date (day/month/year) 24 July 2003 (24.07.2003)	
International Patent Classification (8t See relevant information in Form I	h edition unless older edition indicated) PCT/ISA/237		
Applicant TAMA HOME CO., LTD.			

1.	<ol> <li>This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).</li> </ol>				
2.	<ol> <li>This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.</li> <li>In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.</li> </ol>				
3.	3. This report contains indications relating to the following items:				
	Box No. I	Basis of the report			
	Box No. II	Priority			
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability			
	Box No. IV	Lack of unity of invention			
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement			
	Box No. VI	Certain documents cited			
	Box No. VII	Certain defects in the international application			
	Box No. VIII	Certain observations on the international application			
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).				

	Date of issuance of this report 30 January 2006 (30.01.2006)	
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland	Authorized officer  Yoshiko Kuwahara	
Facsimile No. +41 22 740 14 35	Telephone No. +41 22 338 90 90	

Form PCT/IB/373 (January 2004)

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関) 出願人代理人		7条約	REC'D. 1.0 SEP-2004	
加藤久			WIPO	PCT
	160			
あて名	様			
〒 812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目11-5 アサコ博多ビル1102号			PCT 国際調査機関の5 (法施行規則第40 [PCT規則43 <i>0</i>	条の2)
		発送日 (日.月.年)	07. 9. 2	2004
出題人又は代理人 の沓類記号 F040008PCTMI		今後の手続きに	こついては、下記2を	参照すること。
国際出願番号	22. 07. 20	04	優先日 (日.月.年) 24.	07. 2003
国際特許分類 (IPC)				
Int.Cl'E04C1/00, E04C2/38	B, E04	C2/40		·
出願人(氏名又は名称) 中村 光男			•	•
1. この見解審は次の内容を含む。	見定する衆 び説明	f規性、進歩性又	は産業上の利用可能	
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの 際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基 ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、	とづいてほ	際調査機関の目	配金を国際予備本本	機関の目紛がしてみと
この見解告が上記のように国際予備審査機関の見解 ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することが	『了する期	される場合、様  限が経過するま	式 P C T / I S A / でに、出願人は国際	220を送付した日か 予備審査機関に、適当
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を	:参照する	こと。		•
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備	考を参照	すること。		
見解眥を作成した日				
20. 08. 2004		•	•	
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915	特	許庁審査官(権 五井 ・		2 E 9 2 2 7
東京都千代田区段が関三丁目4番3号	電	話番号 03-	3581-1101	内線 3245

電話番号 03-3581-1101 内線 3245

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

	SAME THE PROPERTY OF THE PROPE	国际印刷备号			
第1欄 見解の基礎					
1. この見解啓は、下	1. この見解告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の官語を基礎として作成された。				
	□ この見解告は、				
2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。					
a. タイプ	配列表				
	配列表に関連するテーブル				
b. フォーマット	一	• .			
	コンピュータ読み取り可能な形式				
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる				
	この国際出願と共にコンピュータ読み	取り可能な形式により提出された			
•	出願後に、調査のために、この国際期	<b>引査機関に提出された</b>			
3.					
4. 補足意見:					
	•				
	·				
_					
•					
		,			

## 2. 文献及び説明

文献1:日本国実用新案登録出願51-150230号(日本国実用新案登録 出願公開53-66816号)の願書に添付した明細書及び図面の内容 を撮影したマイクロフィルム(山本 賢治),1978.06.05,

全文、全図(ファミリーなし)

文献2: JP 34-3622 B1 (中西 正光) 1959.05.15,全

文、全図 (ファミリーなし)

文献3: JP 36-7224 B1 (中西 正光) 1961. 06. 10, 全

文、全図 (ファミリーなし)

請求の範囲1-5に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1及び文献2とにより進歩性を有しない。文献1記載の発明に対し、文献2に記載された、貫通孔の軸線方向と交差する外周面に形成された凹部を付加することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲 6 - 1 0 に係る発明は、国際調査報告で引用された文献 1, 文献 2 及び 文献 3 により進歩性を有しない。文献 3 には、ブロックの間にセメントペーストを 用いることが記載されており、文献 1 に記載されたブロックの間に文献 1 に記載のセメントペーストを用いることは、当業者にとって容易である。また、荷重のかかることが明らかである周縁部よりの領域のブロックにおいて、文献 1 にみられる貫通部を設けずに緻密構造とすることは、当業者が適宜なし得る事項にすぎない。